

平成29年度第1回新発田市子ども・子育て会議 会議録

会 議 名	平成29年度第1回新発田市子ども・子育て会議
開 催 日 時	平成29年7月20日(木) 午後2時00分～4時30分
開 催 場 所	新発田市役所5階 502会議室
議 事	1. 平成28年度新発田市子ども・子育て支援事業計画の実績報告について 2. その他
出 席 者	<p>【委員】 金山会長、木村副会長、松田委員、宮前委員、山崎委員、神田委員、内田委員、池田委員、皆川委員、前田委員、佐藤委員</p> <p>【説明課】 (健康推進課) 阿部課長、(青少年健全育成センター) 久住所長、(学校教育課) 中野課長補佐、(地域安全課) 増子課長補佐、(人権啓発課) 宮下課長、(社会福祉課) 坂上課長</p> <p>【事務局】 (こども課) 櫻井課長、佐久間課長補佐、高山係長、渡辺係長、渋谷係長、松本主事</p>
欠 席 者	近藤委員、大沼委員、引原委員
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	1人
配 布 資 料	<p>①「平成29年度第1回新発田市子ども・子育て会議次第」及び「委員名簿」</p> <p>②議事(1) 平成28年度新発田市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について</p> <p>③新発田市子ども・子育て会議席次表</p> <p>④事業実績調査票の差替(基本目標4 2ページ)</p> <p>⑤地域子ども・子育て支援事業量の見込みについて【中間年の見直し(案)】(資料1)</p> <p>⑥量(必要利用定員)の確保方策における公立園の民営化について(資料2)</p>
〈会議経過〉 開会	
議事1	平成28年度新発田市子ども・子育て支援事業計画の実績報告について
各説明課	議事1「平成28年度新発田市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について」を各々説明
佐藤委員	<p>2点質問。</p> <p>1点目。基本目標3の2ページNo. 72「放課後子ども教室推進事業」について。現時点で、児童クラブに行っている子どもたちは、この事業に参加できているのか。3時から6時の平日は、児童クラブに行っている時間と重なる。どのような形で対応して</p>

青少年健全育成センター	<p>いるのか。</p> <p>放課後児童クラブについては、学童保育で、共働きの核家族向けであるが、放課後子ども教室は、全学年が対象で、特に制約はない。両方に籍を置いてもらって良い。</p> <p>背景として、ニーズも含め、国の方も児童クラブを6年生まで拡大してきた。その中で1年生から6年生が1つの児童クラブで活動していくと、低学年と高学年でかなり差がある。そのため、国の放課後総合プランで放課後子ども教室ができた。</p> <p>菅谷小学校区は、平成22年に、人数も少なく、児童クラブよりも放課後子ども教室の方が良いと地元の意見があったため、1年生から6年生までの形になっている。</p> <p>外ヶ輪小学校では8月1日から開設、猿橋小学校でも来年の開設を予定してしている。かなり人気はあると考えられるため、今後もできるところから進めていきたい。</p>
佐藤委員	<p>例えば、児童クラブにいる子どもが放課後子ども教室に行きたい場合、児童クラブと連携して放課後子ども教室に送り出し、6時以降にまた児童クラブに戻すような連携はできているのか。</p>
青少年健全育成センター	<p>そのようなケースについては、当然連携を取る。ただし、菅谷小学校区は今のところ連携の必要はない。二葉小学校区については、両方の指導員で連携を取り合い、子どもが事故に遭わないように努めている。</p>
佐藤委員	<p>親も把握し、一つのルートとして子どもに伝え、曜日により児童クラブや放課後子ども教室を行き来するような形で上手く機能ができている、ということによろしいか。</p>
青少年健全育成センター	<p>上手く機能させなければならないと思う。ただし、あくまでも保護者の方から、児童クラブ、放課後子ども教室、学校への連絡を受けて、三者で連携をしながら進めている。</p>
佐藤委員	<p>2点目。基本目標4の2ページ前後、交通安全に関して。交通安全関係課や新発田警察へ電話を掛けたりしているものの、なかなか進まず困っている事例がある。東豊小学校区の東新町4丁目の事故多発地点についてである。</p> <p>東塚ノ目隧道が開通し、交差点での事故が、もう10件以上起きている。子どもが巻き添えを食らってもおかしくないような、歩道へ乗り上げる事故が多発している。そのため、地域の親で話し合い、この春から見守りつつ別なルートを歩いている現状である。交通安全関係課に電話したが、色々と予算の問題で、横断歩道や信号機、一旦停止標識の設置がなかなかできないということで、あちこち回され、結局埒が明かない状態で今に留まっている。先日東新町4丁目の地域懇談会に参加した際も、やはりそこがなかなか上手くいかないということだった。</p> <p>子どもにも自衛しなければいけないことを一生懸命伝えてはいるが、その域はもう超えている。自分たちでどう身を守っても、飛び込んでくる車を避けられない。朝の通勤時間は、子どもたちが道を渡ろうとしてもなかなか止まってくれなかったり大急ぎで急</p>

地域安全課	<p>カーブを曲がったり、大人優先、車優先のような道の動きになっている。</p> <p>警察に相談した際も、他にも色々申請があり、最近できた道にはなかなか行き届かない、とのことだった。今までも横断歩道がない地域はたくさんあり、普通に、斜め横断しているのが通常、というような答えまでいただいた。それはちょっと尋常ではないと思う。本当に不安でならないので、何とかしていただきたい。そして、行政の溝だと思うが、どこが管轄しているのかよく分からない。地域の子どもたちの命が第一優先ということをごどこかに訴えたくて、持て余しているところである。</p> <p>6月の議会の際にも佐藤真澄議員から質問があり、その際答えた内容で回答する。信号機設置の要望がよく出ているが、セブンイレブン前の場所については、今年度中に信号機が付く。信号機設置など、基本的に規制ものについては、公安が担当し、平等に見ながら予算付けがされている。新発田市内では、年間で1機付くか付かないかくらいの予算しかない。市の方も、今後県の方に、もっと予算を付けてほしいとお願いしていくという話になっている。</p> <p>ただし、他にも色々あるため、優先順位を付けながら、必要なところに設置していく。地域から要望があった場合は警察に話をしていくが、やはり公平に平等な目で、県下全て調べながら付けていくことになる。そこはご了承いただきたいと思う。</p>
皆川委員	<p>周りに子育て真っ最中のママたちが大勢いる。会議の出席にあたり、「ぜひこれは言ってきてください」と言われ、メモをしてきたので読ませていただく。</p> <p>きらきらカードについて。とてもありがたいが、実際子育て時に必要なものを買う場所、ドラッグストアや子ども用品を売っている西松屋などで使えると非常にありがたい。洋服だけでなく食器類なども揃えたりするため、バースデーやイオンでも使えるようになるとても良い。</p> <p><u>市内の歩道の段差について</u>※1。ベビーカーを押して歩くと引っかかり大変危ないので、整備をしていただきたい。</p> <p>病児・病後児保育の拡大について。同じような病気の子どもは複数人同部屋に入れるが、別々な感染症の子どもが来ると入れなくなってしまい、結局、母親が仕事を休まなければいけない。キッズ陽だまり園だけでなく、もう1か所造っていただきたい。</p> <p><u>出産お祝いについて</u>※2。市のごみ袋をいただいているのはありがたいが、可能であれば、期限付きで構わないので、同額程度の商品券などにしていただけると、買うものを選んで良い。</p>
こども課	<p>保護者の皆様方からの貴重なご意見を届けていただきありがたい。</p> <p>こども課の所管分として、まず、子育て応援カードの協賛店について。もっと子育てに直結した協賛店の拡大を進めてほしい、ということだと思う。この点については担当も、課題の一つであると認識している。平成30年度から、定住自立圏により、新発田市だけでなく胎内市でもこの事業と一緒に進めるため、両市の協賛店で使えるような拡充を進めていきたい。また、そのタイミングを見て、新発田市内の子育て協賛店にもも</p>

	<p>う少し拡充できるように働きかけをしていきたい。</p> <p>病児・病後児施設の拡大について。後にお諮りしたいと思っていた部分である。働いている保護者の方々は、子どもが病気の時に仕事を休めず困っていることから、利用ニーズが非常に高まり、年間の利用者数が年々増加してきている。そのため、今年度末に1か所、同様の施設が増える見込みである。大きな課題だともちらも捉えている。</p> <p>歩道の段差については、所管が地域整備課になる。貴重なご意見を担当課に伝えるということでご了承いただきたい。</p> <p>出産祝い金について。ごみ袋については環境衛生課が所管になっていると思う。こちらにも、内容を関係する課に伝えるということでご了承いただきたい。</p>
木村副会長	<p>基本目標の5（1）のNo.94「企業への啓発と雇用主を対象とした研修会の開催依頼」について。参加事業所数が増え、企業のワーク・ライフ・バランスに関する理解が進んでいるなど、とても嬉しく思った。ただし、参加事業所数の107という数が、全体に対する参加率としてどれくらいなのか分からない。参加事業所数の母数を教えてほしい。</p>
人権啓発課	<p>大変申し訳ないが、市で把握しておらず、今は答えられない。107社という数は、ハローワークで把握した数字であり、全体の割合は市で把握していない。この107社についても、参加人数は何人か確認したがあまり把握していなかった。ハローワーク新発田とは連携を図っているが、なかなか情報出しの部分で上手くいっていない部分もある。</p>
木村副会長	<p>有りがちなこととして、理解してくれている企業は集まりにも出席し、会社としての意識が非常に高いが、それがなかなか広がっていかない状況があるのかと思った。参加率がどれくらい上がっているのか、あるいは横並びなのか、できるだけ情報を取っていただきたい。もう一つ、ハッピーパートナー企業の数もあると思う。そちらの企業数の推移と併せて、次回以降可能な限り答えたい。</p>
人権啓発課	<p>ハローワーク新発田に働きかけ、できるだけ情報出しをできるように努めていきたい。ハッピーパートナー企業についても、登録者数は新発田市内で分かっているが、全体の部分が分からず、やはり率としては出しづらい。申し訳ない。</p>
金山会長	<p>次回にでも情報提供を願う。</p> <p>今回の報告について、皆様ご了承ということでよろしいか。</p> <p>（委員の同意）</p> <p>今ほど出された意見は、是非今後の事業に反映していただきたい。</p>

議事2 その他	
各説明課	「地域子ども・子育て支援事業量の見込みについて【中間年の見直し(案)】」を各々説明
金山会長	<p>特に質問がないため、「地域子ども・子育て支援事業量の見込みについて【中間年の見直し(案)】」をご了承される方は挙手を願う。</p> <p>(挙手の人数を確認)</p> <p>出席員全員の挙手であったため、「子ども・子育て支援事業量の見込みについて【中間年の見直し(案)】」は原案通り承認。</p>
こども課	「公立園の民営化について」を説明
木村副会長	今後のスケジュールについて。時系列のスケジュールとしては、いつぐらいの民営化を目指して動くのか。
こども課	<p>この施設はなかなか特殊であり、幼稚園、保育園、ひまわり学園という3種類の機能を備えていることから、施設の特殊な癖が多少ある。背景として、元々猿橋小学校だった建物の中に、西園幼稚園、保育園、ひまわり学園、そして3歳未満児の施設が段階的に加えられてきた。課題を解決すべき部分もいくつかあるため、それらを全て整理、解決した後のスタートとなる。</p> <p>入園希望が非常に増えており、待機児童解消を続けていきたいということからすると、一刻も早くとは思っているが、課題を早急に整理、解決した後に進めることになる。早ければ早いほど動きたいが、現状では何年とは申し上げられない。</p>
金山会長	<p>西園保育園、西園幼稚園、ひまわり学園から構成される西園すこやか園を民営化するという案に関して、ご了承される方は挙手を願う。</p> <p>(挙手の人数を確認)</p> <p>出席委員の過半数以上の挙手があったため、「公立園の民営化について」は原案通り承認。</p>
金山会長	<p>最後に一言挨拶。</p> <p>委員の任期は7月28日までとなっている。私自身は、平成27年度から前桑原会長の残任期間を引き継ぐ形で、2年間会長職を仰せつかった。短期間の職務で、不慣れなことが大変多くあったが、皆様からご協力を賜り進行できたことに御礼申し上げます。</p> <p>これからの新発田市の子どもたち、そして関わる大人たちがより幸せな人生を歩めるように、支援をお願いしたい。</p>

その他	
事務局	事務局から連絡。会議録は、作成後、出席者の皆様に確認をお願いし、概要について、市ホームページに掲載する。
閉会	

※会議で出された意見・要望等に対する補足回答

<p>※1. 市内の歩道の段差について</p>	<p>地域整備課回答：</p> <p>歩道の整備は国が示す「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」や新潟県の福祉のまちづくり条例等に基づいてバリアフリーの整備を進めているところであります。</p> <p>また、通学路についても警察や教育委員会、道路管理者等で通学路合同点検を実施し段差等を含む危険個所の改善を図っているところであります。</p> <p>ご意見をいただいている市内の道路、歩道にある段差について今後ともご意見や情報提供等いただきたいと思ひます。</p>
<p>※2. 出産お祝いについて</p>	<p>環境衛生課・こども課回答：</p> <p>当市では、平成11年からのごみ収集有料化以降、使用済の紙おむつが大量に発生する乳児のいる世帯の経済的な負担の軽減のため、出生の月から満1歳になる月の前月までの期間において、1月あたり「燃えるごみ指定ごみ袋大5枚」を助成する制度を設けています。</p> <p>実際の助成については、出生届時には「燃えるごみ指定ごみ袋の大60枚入り袋」を、転入届時には、転入届提出月から満1歳になる前月までの月数に応じた枚数をお渡ししています。</p> <p>金額としては、月250円、12か月で3,000円相当となります。ご意見のように「商品券」にするとお子さんのための育児用品等、購入できる範囲が確かに広がると思ひます。</p> <p>しかしながら、商品券の場合、過去の「子育て応援商品券」の交付における事務処理経費を参考にすると、保護者への交付金額と比較して、商品券作成経費、交付経費、事業者との換金経費など、かなりの経費が余分にかかりました。</p> <p>このことから、紙おむつの処理に必ず必要となる「燃えるごみ指定ごみ袋」の現物助成とさせていただいておりますので、ご理解いただきたいと思ひます。</p>